



# news release

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 〒004-8588 札幌市清田区清田一条一丁目2番1号  
[URL] <http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>

2022年5月31日

報道関係 各位

## 道内外企業 6 社が連携し、積丹及び後志エリア活性化を目指します 『『岬の湯しゃこたん』事業に関する連携についての覚書』を締結

北海道コカ・コーラボトリング株式会社（本社：札幌市清田区 取締役社長：佐々木 康行）は、積丹町及び後志地域の観光の活性化等を目的として、株式会社SHAKOTAN GO（本社：積丹郡積丹町 代表取締役：五十嵐 慎一郎 以下「SHAKOTAN GO」）、株式会社北海道新聞社（本社：札幌市中央区 代表取締役社長：宮口 宏夫）、北海道中央バス株式会社（本社：小樽市 代表取締役社長：二階堂 恭仁）、株式会社エーエルシー（本社：札幌市西区 代表取締役：川森 晃）、三菱地所株式会社（本社：東京都千代田区 代表執行役執行役社長：吉田 淳一）と、『『岬の湯しゃこたん』事業に関する連携についての覚書』を締結いたしましたので、お知らせいたします。

この覚書は、積丹町内の温泉施設「岬の湯しゃこたん」を運営する SHAKOTAN GO を中心に、当社を含む 6 社が連携し、「岬の湯しゃこたん」の発展はもとより、積丹町及び後志地域の観光の活性化、SDGs の理念に沿った持続可能な地域の創造等、次世代に繋がる事業を連携、協力し推進していくことを目指しています。

6 社は、積丹町はもとより、豊富な資源を有しながらも著しい人口減少に直面する地域の活性化に向けた取り組みを連携して行っていく方向性を確認しており、今後は、地域の創生につながる事業を企画する場づくりを目的に、「岬の湯しゃこたん」を拠点として、さまざまな企業・個人が交流し、新たな地域の未来像を語り合うサロンを開催します。さらに今後は、幅広い企業・団体等の参加も呼びかけ、さまざまな事業活動を行って参ります。

なお、温泉施設については、本年冬のオフシーズンに飲食やサウナなどの館内設備の魅力化を図り、来春には、新生「岬の湯しゃこたん」として、リニューアルオープンすることを計画しております。

当社は、「北の大地とともに」をスローガンに、どさんこ企業として、北海道の魅力をさらに高める活動、地域課題解決への協力、次世代を担う子どもたちに将来の地球の姿を考える場の提供、安全で安心な地域づくりを応援する取り組みなど、事業活動を通して継続的に推進してまいります。

<本件に関するお問い合わせ先>

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 広報・サステナビリティ推進部

担当：高橋 TEL 011-888-2091

## 【参考資料】

### ■ 積丹町および「岬の湯しゃこたん」について

積丹町は、北海道積丹半島の先端に位置し、積丹ブルーの海、神威岬、島武意海岸、ウニ丼等の海鮮等多くの人が訪れるこの景勝地であり、年間約 100 万人の観光客が訪れ、世界に誇る秘境リゾートとしてのポテンシャルを秘めています。

半島の断崖の海岸地形は、ニセコ積丹小樽海岸国定公園として、小樽、余市、ニセコとともに風光明媚な景勝地を構成し、積丹を含む後志地域は、最近では日本酒、ウイスキー、ワイン、ビール、ジンの酒造の集積が進み、世界的な酒造エリアとしても注目を集めています。

また、後志自動車道余市 IC の開通により札幌から 1 時間 45 分、新千歳空港からでも 2 時間 30 分とアクセスが飛躍的に短縮されました。さらに、将来の新幹線延伸によるニセコ、小樽の新幹線駅開設等により、さらなる広域的な流動が期待されています。

「岬の湯しゃこたん」は、その中であって、日本海への大眺望が確保される町内でも数少ない貴重な立地で、ピーク時の利用者としては年間 10 万人を越す施設として積丹町の観光客入込を維持する役割を果たしており、この施設を継続することは地域の観光業や活性化に大きく貢献すると期待されています。

## 【岬の湯しゃこたんの写真】



